



おばあさんは古いスプーンをぴかぴかにみがいて大事に使っていました。ある日、からすが木の上にスプーンをかくしてしまいます。やがて雪がふり、木から落ちたスプーンをねずみ3びきがみつけ、スプーンのそりあそび。スプーンはどこへいくのかな？

「おばあさんのすぷーん」 神沢 利子／さく 富山 妙子／え 福音館書店 (EAT)

「ねずみのとうさん アナトール」 イブ・タイタス／文 ポール・ガルドン／絵 童話館出版 (EAG)



ねずみのお父さんには、ひみつ の仕事がありました。なんと、人間の工場で副社長をしているのです。



マーサは、雪がふるまちをさまよいくらしていました。でも、すばらしいおうちをみつけたのです。それはまちの映画館でした。

「やどなしねずみのマーサ」 アーノルド・ローベル／作 三木 卓／訳 文化出版局 (EAO)

たんだ新聞

たんだ新聞社
〒270-1147
我孫子市若松 26 - 4
我孫子市民図書館
TEL 04 - 7184 - 1110

ちっちゃんほくらが **ねずみ** 主演です！！

その①
絵本いろいろ

「ねずみじょうど」 瀬田 貞二／再話 丸木 位里／絵 福音館書店 (EAM/MEAM)



おじいさんは、おもちをねずみの巣穴におとしてしまいました。そして、ねずみのやしきにつれてこられ、ふしぎな歌をききます。「ねずみのじょうど ねこさえ いなけりゃねずみのほうねん しゃきしゃき」

今年の干支、ねずみ。ものがたりに出てくるねずみは、さまざまです。やどなしねずみに、のねずみ、おんがえしするねずみ、まちではたらくねずみもいます！

すにっぴいとすなっぴいは、小さなふたごのねずみです。人間の家のだいどころには、おおきなチーズがあると知り、行ってみたくてたまりません。



「すにっぴいとすなっぴい」 ワンダ・ガーク／文・絵 わたなべ しげお／訳 岩波書店 (EAG/BEAG)



「歯いしゃのチュー先生」 ウィリアム・スタイク／ぶんえ うつみ まお／やく 評論社 (EAS)

「いったんしごとをはじめたら、わたしはなしとげる。」チュー先生は、ずるがしこいきつねの歯を、なおしてやることに決めました。

「ヤマネはねぼすけ？」 湊 秋作／文・写真 中川 雄三／写真 福音館書店 (EMTA)



『ふしぎの国のアリス』のティーパーティーにいる「ねむりネズミ」、それがヤマネです。観察してみたら、本当にねぼすけ。でも、ちがう様子も発見できました！

このほんだいですき

●まぢにはいろんなかおがいて



佐々木マキ／文・写真
福音館書店
いろんなところにかお
みだいなのがありそう
だから、さがしてみよ
うと思っただけです。
星空せりな（アビスタ本館）

●せかいいちうつくしいぼくの村

小林豊／作・絵 ポプラ社
「せかいいちうつくしいぼくの村」という
題めいを見て、どのようながうつくしい
のかきになって見てみたら、たくさんのさく
らの木やすももの木がいっぱいになって、
それがうつくしいんだと思いました。その木
たちはとても大切にそだてられたのだなと
思いました。

ゆす原りん（アビスタ本館）

●少年たんでいプロウン

トナルド・ソボル／作
花輪かんじ／訳 桜井誠／絵
偕成社
自分でなぞをかいけつしてこたえをさが
せるの、すくおもしろいです。
秋山楓（アビスタ本館）

●大どろぼうホッツエンプロッツ

プロイスラー／作 トリップ／絵
中村浩三／訳 偕成社
一度つかまったけど、けいさつをうまくだ
ましてにげていたことが、さすが大どろぼう
だな、と思いました。カスパールとゼッペル
は、よく大どろぼうにたちむかえるな、と思
いました。ホッツエンプロッツは大どろぼう
で、物をぬすんだりするけど、おもしろくて
私は好きです。
五味紫（アビスタ本館）

●ふたりはバレリーナ

バーバラ・マクリントック／作
福本友美子／訳 ほるぷ出版
とてもおもしろくて、最終てきには二人と
も会えるところがすてきでした。
たまはなきこ（アビスタ本館）

●ぞうのババル

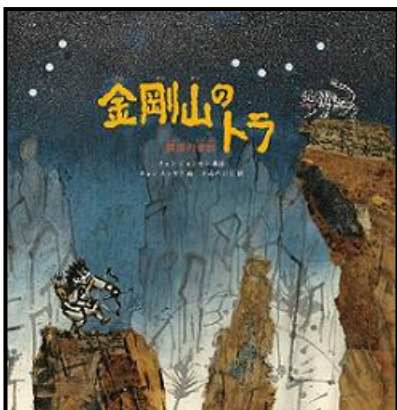
ジャーン・ド・ブリュノフ／さく
やがわすみこ／え 評論社
ばばーるがちいさいのこひつりてまぢに
ついたのですこかったです。
竹原みお（アビスタ本館）

●100万回生きたねこ

佐野洋子／作・絵 講談社
100万回生きてすこいと思いました。し
んじやったのに、またいきかえってすこいと
思いました。
遠藤成悟（アビスタ本館）

~~としょかんの人がすきな本~~

『金剛山のトラ』



クオン ジョンセン／再話 チョン スンガク／絵
かみや にじ／訳 福音館書店（EAチ/MEAチ）

昔、ある山里に、ユボギという男の子が、母とたった二人でくらしていました。父は弓矢の名手でしたが、金剛山にすむトラにおそわれて、死んでしまいました。父の死のわけを知ったユボギは、かたき討ちをちかいます。体をきたえ、弓のけいこにはげみ、りっぱな若者になったユボギは、いよいよ金剛山へ向かいます。しかし、ユボギを待ちうけていたのは、白くて強いひとみをもった、山のように大きなトラでした。ユボギはふるえる手をおさえ、こんしんのかで弓をひきます。

韓国の昔話です。（アビスタ本館 小川みのり）

●犬になった王子

君島久子／文 後藤仁／絵

岩波書店

本に出てきた王子がゆづかんていい王子だ
と思います。

ゆづももか（アビスタ本館）

●妖怪一家のハロウィン

富安陽子／作 山村浩二／絵

理論社

コーロッパまもの連合の会長さんの家族が、
化野原団地にやってくるころがおもしろか
ったです。あと、オオカミ男とまじよの「ふう
ふ」のころもびっくりました。

島村心菜（湖北台分館）

●ふたりはともだち

アーノルド・ローベル／作 三木卓／訳

文化出版局

さいしよは、お手がみをがまくんがもらえな
くてかわいそうだと思っただけど、かえるくんは
お手がみをもらってよかったなと思いました。

杉林じょん（湖北台分館）

●ふしぎないじこ

わたなべちなつ／さく 福音館書店

この本は、かがみのしかけを使っていて本を
読むのが楽しくなりました。ほかにも、このか
がみのシリーズがあって、とてもおもしろかっ
たです！また読みたいです。

飯沼里桜（湖北台分館）

●はじめてのキャンプ

林明子／さく・え 福音館書店

はじめてなほちゃんがキャンプに行って、
楽しそうだな、と思った。なほちゃんがかわ
い。いろいろとお手つだいしてえらいと思
った。さいしよ、なほちゃんだけキャンプに
行かないとなっていてかわいそうだなと思
った。自分でキャンプのよさをしているとい
いと思った。にもつが重そうだな、と思った。

いろは（湖北台分館）

●にんぎょうのおいしやさん

マーガレット・ワイズ・ブラウン／作

J・P・ミラー／絵 こみやゆう／訳

PHP研究所

おいしやさんがどんなおもちゃもなおし
てすごかったです。おいしやさんがびょう気
になった時は、おもちゃがたすけてあげてお
もしろかったです。

いとうかほ（布佐分館）

●まあちゃんのながいかみ

たかどのほうこ／さく

福音館書店

まあちゃんが、かみをのばしたいという気
もちがすごくわかりました。まあちゃんは、
本当にのばせるのかがわからなかったけど、
楽しいと思います。わたしも、かみをのばし
たいと思いました。この本はおすすぬな本だ
そうです。みんなにもよんでほしいです。

落合結愛（布佐分館）

●魔女学校の一年生

ジル・マーフィ

／作・絵

松川真弓／訳

評論社



このお話は、まじよのミルドレッドがたい
へんなじけんをおこして、いろいろな人をま
きこんでしまいます。だけどさいしゅうてき
にはかいいつします。

大出梨華（布佐分館）

●ピーカー教授事件

エルジェ／作 川口恵子／訳

福音館書店

タンタンがぼうけんに行ったりしているのが
たのしそうだった。ピーカーさんが聞きまち
がいをしてるのも、おもしろかった。

橋本 旬太（布佐分館）

●もけらもけら



山下洋輔／ぶん

元永定正／絵

中辻悦子／構成

福音館書店

「ころがくぐれもが」
など、ふしぎでおもしろいことばがたくさん
でてきておもしろかったです。おとにあわ
せて、ふしぎなえもかいてありました。

いでなぎさ（布佐分館）

リチャード・ウィルバー／さく
 松岡 享子／やく 大社 玲子／え 「番ねずみのヤカちゃん」
 福音館書店（2-ウ）

その② よみごたえあり！ 長いものがたり

ドドさんのおうちにネズミのかぞくが住んでいました。子ネズミのヤカちゃんはやかましやさん。すごく声が大きくて、家じゅうがゆれてしまうほどです。ある日、ドドさんが「うちにネズミがいる」と気づいて、ネコをつれてきてしまいます。



「でっかいねずみとちっちゃなライオン」

イブ・タイタス／ぶん
 光吉 夏弥／やく
 レオナード・
 ワイズガード／え
 大日本図書（2-タ）



ライオンとねずみが人間の世界を見に行くことにしました。そこで、親切なようせいがこっそりまほうをかけました。「このねずみが、人間の目に、大きく見えますように！ライオンは、小さく見えますように！」



「ペットねずみ大さわぎ」

フィリパ・ピアス／作
 高杉 一郎／訳
 岩波書店（2-ビ）

シドが学校の友だちからもらってきたねずみ。妹たちはおおよろこびですが、お母さんは大きらいで、飼うのはだめと言います。シドの2人目のお父さんは、きっとお母さんの味方をします。シドは「自分でちゃんと世話するから」とお願いしますが…。

ミス・ピアンカは立派なお屋敷のペットとして育ちました。

真っ白な毛並みに銀のネックレス、上品な美しいねずみでした。ところが、おりの外へ出ていくことを決心します。「わたくしも、役立つものにならなくては！」
 “囚人友の会”に協力することを決めたのです。



「くらやみ城の冒険」

マージェリー・シャープ／作 渡辺 茂男／訳
 ガース・ウィリアムズ／絵 岩波書店（2-シ）



「子ねずみラルフのぼうけん」

ベバリー・クリアリー／作
 谷口 由美子／訳
 赤坂 三好／絵
 童話館出版（2-ク）

ぐうぜん行った古いホテルで、ぼくはちいさな友だちに出会った。そいつは人間の言葉が分かるし、おもちゃのバイクも乗りこなす。勇敢なやつで、ぼくのピンチをすくってくれたんだ。



その③ ちいさなねずみのちいさなぼうけん みじかい絵本

ねずみの天敵、それはねこ。でも、このふたりは少しちがうみたいです。

「ふたり」

瀬川 康男／さく
 富山房（EAセ）



「ねずみのいえさがし」



「ねずみのともだちさがし」



「よかったねねずみさん」



ヘレン・ピアス／さく
 まつおかきょうこ／やく
 童話屋
 (EAピ/BEAピ)

ここはひろすぎるし、こっちはやかましすぎる…。ねずみにぴったりな家ってあるかしら？ほんもののねずみの写真絵本。シリーズ3冊。



動物の種類の中で、ねずみのなかまはとても数が多く、1,000種以上もいます。

ハムスターもねずみのなかまなんだよ。（『動物』三浦 慎悟／他 監修・指導 小学館より）